

古典文化同好会  
折り紙班部誌

— 折ON —



80th Nada school festival

「POLARIS」

# ～もくじ～

1. まえがき
2. 本文
  - 2-1. 折り紙のすゝめ 授業中 ver.
  - 2-2. 何か作りたい！
  - 2-3. 『Polaris』ロゴの再現作品について
  - 2-4. 折り紙と数学
  - 2-5. 折り紙の歴史〈折り紙の標準が15cmの正方形の理由〉
  - 2-6. 人物系の作品を折ろう！（前編 準備・実践編）
  - 2-7. By Tom
  - 2-8. By けいたろう
3. あとがき

# 1. まえがき

みなさんこんにちは。古典文化同好会折り紙班「折 ON」の部誌へようこそ！まえがきを担当する 81 回生のりょーたりーです。新入生が入ってくるな～とかあと少しで高校生になるのか～とか考えていたらあれ、もう文化祭の季節になっているじゃないですか。いやはや早いものです。

さて、僕がこのまえがきを担当しているのは今回の文化祭が終わってからは僕がこの折り紙班を引き継ぐこととなるためです。今回の引き継ぎは折り紙班初となります。そこで、ちょっとこれまでの折り紙班を振り返ってみることにします。

折り紙班は 2023 年の 10 月、現在の代表・副代表と僕によって、文化祭のときのみ出展する折り紙サークルとして誕生しました。部員集めなどを頑張り、教室の 3 分の 1 の広さを獲得した初めての文化祭はおよそ 10 人の部員で迎えました。やはり折り紙というものは目に留まるのでしょうか。僕の予想以上に多くの方が来てくださってびっくりしたと同時にやはり折り紙というものは灘に必要だったんだと実感しました。2024 年には他校との交流も始まりました。2 度目の文化祭(去年)では t シャツが完成し、部員は 20 人ほどに増え、ブースの大きさも 2 分の 1 教室になりました。そしてなんと最優秀ブース賞も獲得することとなりました。2025 年には学校外のイベントにも参加する機会があり、折り紙班としても僕としてもいい体験になったと思います。そして迎える今回の文化祭。ブースは 3 分の 2 教室で部員も 30 人を超え、文化祭当日には過去最高の出来で作品がずらりと並んでいることでしょう。去年に引き続き最優秀ブース賞狙っていきます！

部誌の話に戻ると、今年の部誌は去年より少し多いくらいになりそうです。今年も制作記だけでなく多くのユニークな部誌が見られました。灘校生が 34 ページかけて語る「折り紙」の世界、どうぞごゆっくりご覧になってください。

# 2. 本文

## 2-1. 折り紙のすゝめ 授業中 ver.

折り紙えもん

### 1. はじめに

皆さんこんにちは。灘校折り紙サークル代表（古典文化同好会会計）の折り紙えもんです。僕もとうとう高校3年生、文化祭は今年で最後、そして部誌を書くのも最後の年となりました。

去年はなかなかマニアックで濃い内容の部誌を書いたので、今年は、皆さんが軽い気持ちで楽しく読める、そんな部誌にしようと思います。というわけで今年の部誌では「授業中の折り紙の楽しみ方」について書いたので、ぜひ最後まで読んでください。

### 2. そもそも、授業中に折り紙ってしていいの？

もちろん、しないほうがいいにきまっています。もし、この部誌を見て興味を持って、授業中に折り紙をした結果、先生に怒られても僕のせいにはしないでください。授業は基本、ちゃんと聞くべきですし、まして折り紙なんて言語道断です。

でもね、何年も何年も折り紙をしていると、手元にきれいな紙があるだけで発作的にそれを折ってしまうんですよ…。そこで、僕が灘校で培ってきた授業プリントで折り紙を楽しむ方法や、実際に折った作品を紹介していきます。

### 3. 授業プリントと普通の折り紙は何が違うの？

誰でもわかる違いは、「長方形か、正方形か」という点です。一般的に、授業プリントはB4、A4など縦横比が $1:\sqrt{2}$ の長方形です。なので、授業プリントを正方形折り紙と同じように折っても、まったくうまくいきません。

しかし、縦が横より（または横が縦より）長いという利点を活かすと、普通の正方形折り紙では折れない折り方ができます。実は、これが一番楽しいところで、い

つもとは少し違った考え方、折り方ができるのでなかなか面白いです。ちなみに、これからご紹介する折り紙作品は、すべてプリント一枚を切らずに折っています。

#### 4. 楽しみ方その1 『ミウラ折り』

これは見たことある人もいないのではないのでしょうか。ただひたすらに同じ折り方を繰り返して、なにかしらおもしろい構造を作ろう的なやつです。

右の写真は僕が実際作ったものですが、フニャフニャと自在に折れ曲がったり、見た目がきれいだったりといろいろな構造が作れます。また、これは大した折り紙技術は必要なく、機械的に折り進めていくだけであまり頭も使わないので、暇つぶしにちょうどいいですね。



しかし、欠点がいくつかあります。その1つとして、めんどくさい。ただひたすらに紙をマス目状に  $n \times m$  等分 ( $n, m$  は2以上の整数) して、さらにそこから山折りと谷折りを無数に繰り返す。正直、余ほど暇か、折り紙が好きか、幾何学的構造が好きかじゃなければ普通はやりません。

そして、最大の欠点は、どうしても『音』が大きくなってしまうこと。蛇腹折りをたくさん繰り返すわけですから、もちろん折る回数も多い。そして立体的に折る箇所も多いので、授業中にカッシャカッシャ音が鳴るわけです。さすがにうるさいですね。なので、これは比較的うるさい授業、かつ自分があまり興味ない授業の時に折るのをお勧めします。

#### 5. 楽しみ方その2 『飛行機』

皆さんご存じの通り、紙飛行機は長方形の紙で折られているものが多くあります。それをネットや本で見つけて折ってみてもいいですし、なんならそれを自分で改造しても面白いです。ある程度適当に折っても、それなりに飛んでくれるのでそれも楽しい。灘校は比較的グラウンドや中庭が広いので、風が弱い日にはそこで飛ばしてみるのも面白いかもしれません。

ただし、教室で思いっきり飛ばしまくるのはやめましょう。個人的には新中庭のテラスから飛ばしたりするのがおすすめです。やっていいか知らんけど。

## 6. 楽しみ方その3 『昆虫』

昆虫って基本、縦に長いですね。そして、プリントも縦に長い。そういうことです。プリントの縦の真ん中部分で虫の表面、両端の縦の辺で脚や触覚、上の辺で、角などを作ればそれなりにうまくいきます。

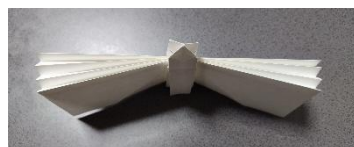
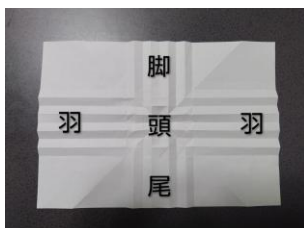
おすすめは、カブトムシやクワガタムシに近い形の昆虫、さらに羽が生えた昆虫も折れたりします。しかし、カマキリやトンボなど、若干イレギュラーな昆虫は難しいですし、どの昆虫も、ある程度の折り紙技術がないと難しいので、気楽に折るのはおすすめしません。

## 7. 楽しみ方その4 『飛んでいる鳥』

飛んでいる鳥の羽って基本横に長いですね。そして、プリントも半分に行ったら横に長い。はい、そういうことです。

右上の図でいうと、基本的に上の部分で羽、上の真ん中に頭、下側で足を作れば鳥っぽくなります。

これは昆虫に比べて、なんとなくで折れるので簡単です。雰囲気としては、鷹や鷲に近いものができます。



## 8. 楽しみ方その5 『人物』

個人的に一番好きです。人物はまさに、普通の正方形折り紙ではできない折り方で折ることができます。

僕がいつも人物を折るときの基本形は、次ページのようなものです。プリント内

部から2つの角を取り出し、足を作ります。残った4つの角で手や足、その他のものを作ることができ、比較的自由度が広いのでおすすめです。何かの服を着させてるようになってもいいですし、何かを持たせてもいい。羽を生やして天使にしたりもできます。しかも、残る4つの角がすべてキレイな45度の角になるので、改造もしやすいです。



ただ一つ難しいのが、頭の部分。この基本形では縦の辺の中間部分で頭を折るのですが、あまり余裕がないので簡易的な顔しか作れず、ちょっとした工夫が必要です。まあ、逆にそこが面白いんですけどね。

## 9. 楽しみ方その6 『その他の哺乳類』

これは最近やってみたところ、うまくいったので紹介します。人物を作るときのやり方に似ていて、プリントの内部で4つの角を折り出し、足を作ります。これで基本形は完成です。



右上の写真で言うと、左側を頭、右側を尻尾、それ以外で余っている部分をその動物の特徴に活かせば、かなりのアレンジができます。

僕は、余っている部分で羽を作り、ペガサス（哺乳類？）を作ってみました。この折り方は比較的可能性を感じたので開拓する余地ありですね。




## 10. 番外編～ド○ノピザ～

皆さんは数年前にド○ノピザが主催した「ド○ノクーポン折り紙アワード」というイベントをご存じでしょうか？簡単に説明すると、折り紙を折ってピザのクーポン10枚ゲットしよう！みたいなイベントです。

この時、僕が折ったのはドミノピザの宅配バイクです（右の写真）。これはまさにチラシ（プリントと同じ比率の紙）が縦に長いという利点を生かした作品で、バイクの屋根の部分も、もちろん紙を切らずに折り出しています。



 ドミノ・ピザ @dominos\_JP フォローする

クーポン不要でいつでもお持ち帰り半額\*のドミノからお知らせ👉

／  
どのお店のもでもOK!  
期限切れクーポンで豪華商品をGET!  
#ドミノクーポンおりがみアワード 開催👉

／

参加方法  
①ドミノ・ピザ公式アカウント (@dominos\_JP)をフォロー  
②期限切れクーポンでおりがみを折る(なんでもOK!)  
③ #ドミノクーポンおりがみアワード で投稿で完了

[最優秀賞] 1名 オリジナル電動キックボード + ピザ無料券10枚  
[優秀賞] 5名 ピザ無料クーポン10枚  
[特別賞] 100名 ※期間中に投稿してくれた人の中からランダムに100名様にピザ無料クーポン  
10/2~10/8迄

詳しくは特設ページ

正直かなり自信があったのですが、結果的にこの作品は優秀賞はとれず、ピザ10枚は惜しくもゲットできませんでした。なので即座にドミノピザのフォローを外し、それ以来「ドミノピザは絶対に食べない」と誓いました。

（特別賞は当たったので、その分のピザはおいしくいただきました）

## 11. さいごに

ここまで読んでくださりありがとうございます！折り紙の1つの大きな特徴に、「紙さえあればいつでもどこでもできる」という点があります。今回、僕が紹介した『授業中に折り紙を折る』というのは、まさにそれが活かされています(?)。

ですが、くれぐれも大事な授業中、怖い先生の授業、うるさい先生の授業ではやらないようにしてください。先ほど言った通り、授業プリント以外にもいろいろな紙で折り紙を試みるのも意外と楽しいのでぜひやってみてください。ご精読ありがとうございました。

## 2-2. 何か作りたい！

蕎麦

元会計の蕎麦です。去年部誌を書かずにしれっとあとがきを書いただけだったので今年こそ何か書かねばと思ったのですが書く題材がない!!!!普段から折り紙をしているタイプの人間ではないので本当に何もありません。というわけで題材から考えていきましょう。

### 1. 何を作ろう

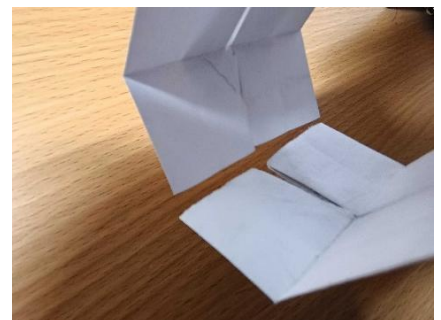
シンプルに文化祭で展示する作品について書くこととします。さて何を折りましょうか。今まで創作をしたことがなかったので何かオリジナルなものを作りたい！色々考えた挙句私は茨木春日丘教会(光の教会)を折ってみることとしました。この教会について軽く説明しますが、これは



大阪府茨木市にある建築家の安藤忠雄氏によって設計された教会で礼拝堂に十字架形の大きなスリット窓がありそこから光が差し込んでくるのが特徴です。(詳しくは検索してみてください)一度はこの目でみたいと常々思っているのですが現在見学は受け入れていないのが残念です。我々の文化祭での展示場所である高校棟は南側に遮るものがなく、かなり採光が良いので窓辺に置いたらいい感じになるんじゃないか、そう考えました。

### 2. 制作

早速作っていきましょう。最大の特徴であるスリット窓による十字架を再現しにかかります。上級者なら色々考えるんですが、そもそも知っている技法があまりないので一旦16等分して試行錯誤してみます。この建物のスリット窓は壁際まで伸びていることが特徴の一つなのでそこも考慮して十字の



縦横比率を調節します。ここで天井を作り忘れていないことに気が付いたのですがつけてしまうとただのスリットのついた箱になるので取り敢えずなかったことにします。

### 3. 一旦完成

ひとまず形になりました。写真だと立体形状が伝わりにくいと思うのですがちゃんと十字架部分を光が通り抜けています。しかし形にはなったもののなにかが違う。適切な色、材質の紙でちゃんと折ればきちんと調節すればいい感じになると信じていたのです。あいにく手元にいい紙がないのと原稿の締め切りが迫っているため文化祭当日に完成していることを願って部誌ではここまでとしましょう。ありがとうございました。



## 2-3. 『Polaris』ロゴの再現作品について

DysP

### 1. はじめに

皆さん、文化祭『Polaris』にお越しいただき、ありがとうございます。部員のDysPです。さて、今年の文化祭ロゴ、皆さんはご覧になったかと思いますが、すごく気合が入っていて、カッコいいですね(確信)。私も初めて見たときに一目惚れしまして、折角なので、私の得意な多面体折り紙で再現してみよう、という感じで制作に至りました。

ということで、具体的な作り方は後述しますが、所感としては、曲線や円(Polarisの周りの3つの流線形とか、以後周回軌道と呼びます)は、多面体折り紙そのものではかなり再現が難しかったので、この部分は、折り紙というよりはむしろ切り紙やペーパークラフトに近い作り方になりました。また、中央の星部分(以後北極星と呼びます)もかなり鋭角なので、普通の正方形の折り紙ではなく、1:3の紙を使い、ユニットを作りました。

### 2. 作り方

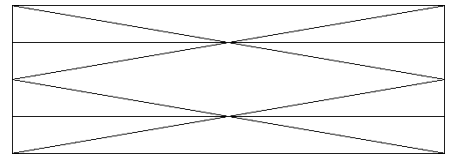
ということで作り方の説明に移っていきこうと思います。もしかすると、自分でも折ってみたいという方がいらっしゃるかもしれないので、制作に使ったデータをGoogle Driveに上げておきます。

[https://drive.google.com/drive/folders/1hA8Bk9ue6-tzR4ktgpT8C\\_8mrhXzsEg7?usp=drive\\_link](https://drive.google.com/drive/folders/1hA8Bk9ue6-tzR4ktgpT8C_8mrhXzsEg7?usp=drive_link)



データの説明ですが、折り図1というデータは、北極星用の折り図のデータです。1枚につき縦1:横3の折り図が縦に3個並んでいる感じです。A4サイズで片面印刷してお使いください。北極星部分には24パーツ必要なので、8枚、もしくは予備で9枚ほど刷っておくといいと思います。また、Polaris1、Polaris2というデータは、周回軌道用のデータです。A4サイズで両面印刷してお使いください。これは1部ずつ刷るだけでいいと思います。

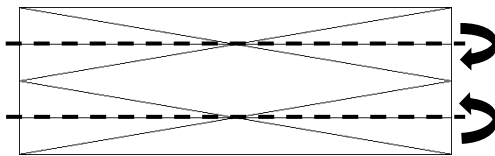
## 2(i). 北極星部分の作成



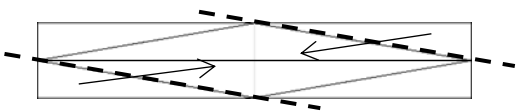
さて、印刷が終わったら、右のパーツを1パーツとして切り出して、印刷されている線に沿って、先

の尖ったもの(芯を出していないシャープペンとかがお勧めです、けがをしないよう気を付けてください)と定規を使って、あらかじめ筋を付けておきましょう。なくても折れますが、折る角度が急すぎて、割とまともに折れないです(n 敗)。

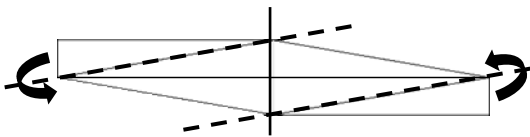
では、折り方を説明していきます。かなり大雑把な説明になりますがご容赦ください。



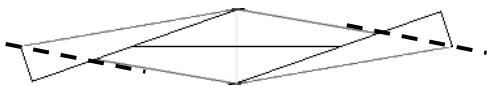
1. 印刷されている面が内側になるように折ります。いわゆる谷折りというやつです。



2. 点線部分で中割折りをします。



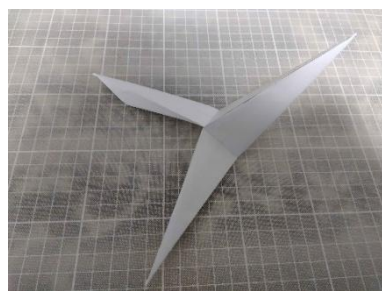
3. 今度は実線部分で山折りをして戻したのち、点線部分で谷折りをします。



4. 3. で折った部分のうち、ひし形からはみ出た部分(点線部)をはさみで切ります。

これでユニットは完成です。そして、これを 24 個作ったら、底面が立方八面体になるように組み上げます。以下にユニットと組み方の写真を載せておくので、参考にしてください。

なお、のりを使って組み上げることを強く推奨します。



## 2(ii). 2周回軌道部分の作成

こちらも同様に、印刷が終わったら、青系統の色部分を切り出します(計3枚)。その後、1.1で作った北極星部分の適切なユニット間の隙間に、両端をのりを用いて固定します。作品の出来上がりの写真を載せておくので、そちらも参考にしてください。



## 3. さいごに

ここまで読んで下さってありがとうございました。また、ここまでの工程を実際にして下さった方がどれだけいるかは分かりませんが、私の拙い説明が、制作の一助となっていれば幸いです。

ここからは私の推測にはなりますが、読んで下さった方の中には、「これは折り紙の作品なのか...?のりも使っていれば、もはや切り紙紛いのこともしているじゃないか」と思った方もいらっしゃると思います。正直な話、私も制作しながら、これは折り紙の作品としていいのか、というのは疑問には思っていましたし、この記事執筆している今でも思っています。

ただ、折り紙作品かどうかは別として、紙だけで(のりも使ってはいますが)こんな物も作れるのだということを感じていただければ、制作者としてはうれしい限りです。

改めて、ここまで読んで下さってありがとうございました。

## 2-4. 折り紙と数学

りよーたりー

### 1. はじめに(?)

最近、僕の中での折り紙に対する熱意が失われつつあるような気がする。折り紙班員としてこれは失格である。が、どうもやる気が起きない。折り紙は好きなのに、どうしてもやる気が起きない。

まあでも頑張ります。もちろん。たぶん折り始めたら止まらなくなると思うので。現状個人作品は仕上がっていませんが、あわよくばオリジナル作品も出展できるよう、これから約2ヵ月(執筆3月)、気合入れてやっていきます。春休みどれだけ使えるかなあ...

### 2. 「高校生文化部フェス in HYOGO」体験記

さて、がらっと話が変わりますが、今年の1/31に神戸ハーバーランドのスペースシアターで開催されたイベント「高校生文化部フェス in HYOGO」に出展してきました！ハーバーランドには2度目の参加となるのですが、今回は兵庫の高校生の部活だけということで随分環境が違いました(前回は企業の方がほとんどでした)。



私服の人間は僕たちだけで浮いてました(笑)。

左の写真のようになんかいい感じのパネル(?)を用意してくださり、大型作品のゴジラをはじめ、みんなが持ってきた作品を展示しました。また簡単な作品を来場者に教えるというコーナーも設け、多くの方に楽しんでいただけたかなと思います。質問も多く受け、来場者とお話することもできましたが、ステージのスピーカーがブースのすぐそばにありなかなか声が聞こえづらかったことは残念でした。



せっかくなので、他の学校のブースを見て回って思ったこともお話ししましょう。灘には珍しい文化部が多く存在しますが、今回のイベントでは他校からもなかなか興味深い部活が出展されていました。一番印象に残っているのはキノコ部ですね。その名の通り、キノコについて研究しておられる部活で、ブースで

は実際のキノコが展示されていました。他にも、古典文化同好会と似ている伝統文化部というところもありましたが、イベントではその中の華道部が生け花のパフォーマンスを行っていました。華道、生け花というのは本当に非常に久しぶりに見たので新鮮でした。

写真にも写っているメインステージでは、吹奏楽部やダンス部などがパフォーマンスを行っていました。僕は軽音学部にも所属しているので折り紙ブースからしっかり聞いてました（笑）。ジャズバンド部とかいう部活がありましたね。いやおしやれすぎるだろ！って。どの学校も本当に上手でしたが、マーチングバンド部の演奏は今でも脳裏に焼き付いています。圧倒されました。

こういうのを見ていて、「やっぱり共学もいいな〜」ってしみじみと思いました。共学だと恋愛問題があーだこーだとか言う人もいるかもしれませんが、なんというか、同じ部活に男女が存在していて、恋愛とか関係なく一緒に高め合う、そういう学校生活スタイルもやってみたかったな〜って。楽しかった一方、なかなか考えさせられたイベントでした。

あれ、これ折り紙の部誌であってる？

### 3. 折り紙は何等分にでもできる！

さて、ということでここからはちょっと数学的な話をしようと思います。もちろん折り紙に関係した。近年登場している非常に難しい折り紙、通称コンプレックス折り紙の特徴の一つは、「等分」です。多くの作品において、最初の作業が紙を8

等分、12等分、7等分、時には100を超える等分の折り筋をつけることとなっています。これらは基本キリのいい数字になっていますが、例えばこんなことを言われたとしましょう。「紙を263等分して」と。困りましたね。しかし理論上、紙はどれだけ細かい等分でも可能です。これを数学的帰納法で証明しようと思います。

(いや当たり前やん！って方は飛ばしていただいて結構です。以下の内容は、表現を変えたら小学生でも理解できる内容を数学に落とし込んでいるだけなので。)

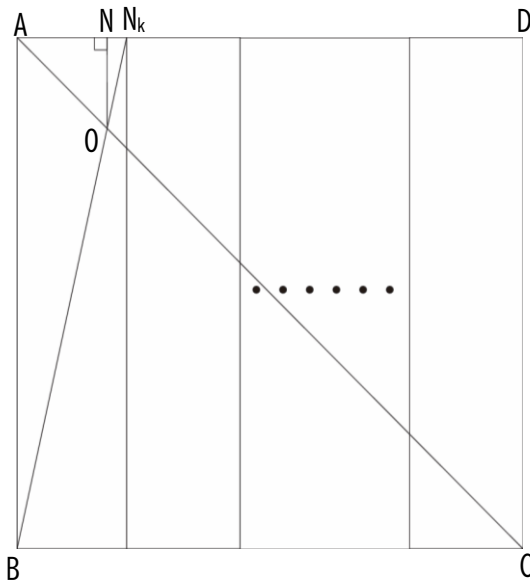
(証明)

「紙はいかなる自然数  $n$  ( $n$  は2以上) についても等分ができる」ことを証明する。 $n=1$  のとき、1等分はすなわち紙を置いた状態となり等分とは言えないので除外する。

(i)  $n=2$  のとき

半分に折るだけである。2等分できるのは明らかなので、これは成立する。

(ii)  $n=k$  ( $k \geq 2$ ) のとき、これが成り立つとすると、正方形  $ABCD$  の辺  $AD$ 、 $BC$  を  $k$  等



分した図は左図のようになる。また、それら等分線のうち、 $AB$  に最も近い線分の  $AD$  上の端点を  $N_k$ 、線分  $AC$  と  $N_k B$  の交点を  $O$  とおく。 $\triangle OBC$  と  $\triangle ON_k A$  において、 $AD \parallel BC$  より  $\angle OBC = \angle ON_k A$ 、 $\angle OCB = \angle OAN_k$  であるから、二角相等より  $\triangle OBC \sim \triangle ON_k A$ 。また相似比は  $BC : N_k A = k : 1$ 。よって  $AO : CO = 1 : k$  である。…①

$O$  から  $AD$  に垂直に下した垂線の足を  $N$  とすると、 $\triangle ANO$  と  $\triangle ADC$  において、 $\angle NAO = \angle DAC$  (共通)、 $\angle ANO = \angle ADC = 90^\circ$  であるから二角相等により  $\triangle ANO \sim \triangle ADC$ 。よって

①より、 $AN : AD = AO : AC = AO : (AO + OC) = 1 : (1 + k)$

すなわち  $AN$  は  $AD$  を  $(1+k)$  等分する。あとは等間隔で長さをとっていけば  $(k+1)$  等分する全ての線を引くことができる。よって  $n=k+1$  のときにも等分ができる。

(i)(ii)より、すべての2以上の自然数  $n$  において、紙は  $n$  等分することが可能

である。(証明終)

こんな感じで証明してみましたが、実際に紙を折るという際のことを考えると、「 $n$ 等分する折り筋が一本だけある状態(図の直線  $ON$  だけの状態)から、特定の折り筋と折り筋を合わせて2等分する作業だけを繰り返していった場合、 $n$ 等分する全ての $(n-1)$ 本の折り筋をつけることは可能か(わかりにくくてすみません)」ということについては未だに証明の見通しが立っていません。まだまだ考察の価値がありそうです。

#### 4. おわりに

いかがだったでしょうか？折り紙と数学には密接な関係があります。前川定理や川崎定理、角の等分や正多角形の作図など、調べていくと折り紙の世界というものは実に奥が深いものです。この部誌を通して、みなさんの折り紙への興味が少しでも高まったら嬉しいです。最後まで読んでくださりありがとうございます。

## 2-5. 折り紙の歴史〈折り紙の標準が15cmの正方形の理由〉

ると

### 1. はじめに

昨今折り紙は日本にはとどまらず海外でブームを起こしています。第二次世界大戦後折り紙は海外に普及していき、「Origami」が世界共通で使われるようになりました。アメリカをはじめとする多くの国では折り紙愛好団体が存在し、「集中力」や「思考力」さらには「空間把握能力」や「数学力」が身につくとされて海外では教育に取り入れられています。折り紙の図案や技術は現代アートや科学技術分野にも応用されています。ところで、日本ではたくさんの折り紙が売られていますが、そのほとんどは15cm×15cmです。百均などの工作コーナーを見てみると15cm×15cmの折り紙がずらっと並んでいる光景が目に入ります。このことについて幼稚園のころから折り紙をやってきてずっと疑問に思っていたことがあって、その疑問というのがなぜ折り紙の標準のサイズは15cmの正方形なのだろうかという。切ったりサイズを測ったりする面で12cmや18cmのほうが使いやすそうじゃないですか。そう思っていままで折り紙をしてきたんですけどこれについて今回この場を借りて調べてみようと思います。ということで次の章からは折り紙の歴史を追っかけながら15cmの謎を考えていこうと思います。

### 2. 折り紙と日本の親和性

折り紙の歴史の話をする前に日本の文化と折り紙の関係の強さについて僕の考えを書かせてください。さて、日本では古くから畳文化と柔軟な生活様式から敷布団文化が生まれました。日本人は朝起きたら敷いていた布団を畳んで一日を始めます。また、和服はきれいに畳まれて収納されます。また、和室を象徴している畳は今の部屋に敷き詰められるスタイルとは違い、平安時代までの敷物として使用して折りたたんだりしていたなごりで「畳む」という漢字そのものが使われています。

これら以外にもいろいろなところで日本はものを畳む文化があり、折り紙の折り

たたむことと関係が深いように感じられます。また和室という点では畳はもちろん障子や襖など方形のもので囲まれています。ほかにも日本が古くから行っている稲作では四角に土地を切り分けています。田舎に行くと今でも一面に広がる広大な四角の田んぼとそれにそった直線の道路を目にするでしょう。少し強引ではあるのですがこれらのことから日本は方形、四角という点でも関係性が強いとっていて、さらに日本人の几帳面な性格も折り紙に適しているといえると思います。このように日本と折り紙というのはつながる部分がたくさんあり、日本で折り紙が発展したのは必然のように思われます。



(↑和室の様子を見ると四角で四方八方を囲われていることがわかる。日本人がどれほど方形に接してきたのがよくわかるだろう。)

### 3. 折り紙の歴史〈和紙の流入と折り紙の原型の誕生〉

ここから本題に入ります。ここからは折り紙の誕生から現代の折り紙の形になるまでの歴史をたどっていきましょう。これを考えるのに、まず折り紙を作るのに欠かせない紙の歴史についてみていきましょう。610年、聖徳太子の時代に朝鮮の僧から紙を作る製法が伝わり、その後日本人の工夫により「和紙」が生み出されました。この和紙に関しては、のちの平安時代に薄くて強い「流し漉き」という日本独自の技術が生み出されました。これにより和紙は用紙に比べてしなやかで強靱な紙となっていきました。このころから一度使った和紙を原料に溶かし、もう一度和紙にする「漉き返し」が行われていました。和紙はこの時代には貴族や公家の文化に欠かせない書物の材料として使われていました。また、神事にも使われるようになって、神様への供物などを和紙で包むようになっていきました。

その後の武家文化である鎌倉時代では武家が贈答用に使うようになりました。ま

だ貴重品であった紙の束と扇を送るようになったのです。これに際して和紙もより分厚く力強く変化していきました。この贈答のときに使われていた包みを美しくおって飾る礼法のことを「折形」と言います。この礼儀作法が折り紙の原型となります。小笠原家や伊勢家などでそれぞれの礼法が生まれ、このころに「儀礼折」の礼法も整えられました。ここではものを包む用途で和紙が使われており、サイズや大きさはさまざまだったのでしょう。



(鎌倉時代に武家の間で使われていた折形の礼法。第二次世界大戦後は遊戯折り紙の流行もあってすたれていきましたが現代でも熨斗紙による飾りなどは残っている。)

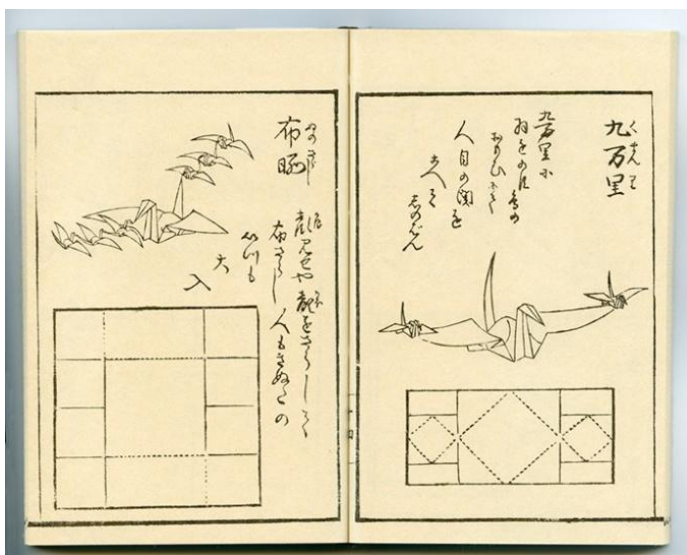
#### 4. 折り紙の歴史〈折形から折り紙への発展〉

時代がさらに進み江戸時代になると紙は大量生産できるようになり、比較的安価で手に入るようになりました。これにより、今まで高価で貴重なものだったところから町民に爆発的に普及しました。このころになると武家の中で発展していた折形が寺小屋などで教えられることで庶民に一気に広まっていき、やがて時間がたつと人々は礼法を重んじる「儀礼折」からはなれて紙の折り方そのものを楽しむようになっていきました。このようにして生まれたのが「遊戯折り紙」です。「遊戯折り紙」は急速に普及していったものを包む礼法から形を作って楽しむ「工芸・遊び」へと発展していきました。最も古い折り紙の記録は1680年に詠んだ句にあります。

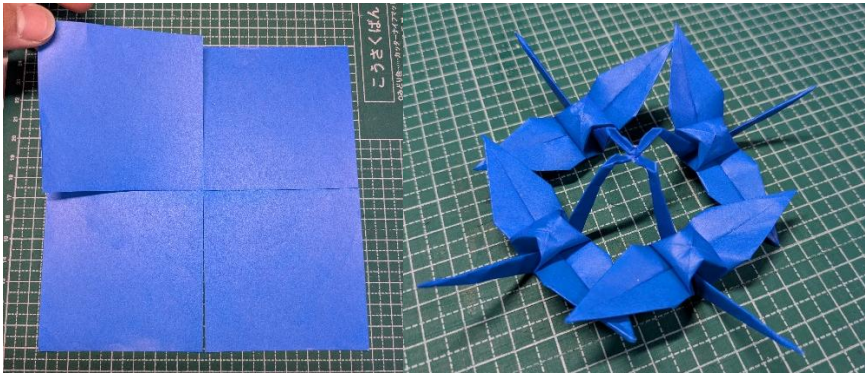
礼法が遊戯に変化していったところで、18世紀に入ると日本人なら一度は折ったことがあるであろう「折り鶴」や伝統的な作品である「奴さん」などの折り紙柄の着

物が見られるようになります。このことから折り紙が社会全体に広まっていたことがわかります。この他に「玉手箱」と呼ばれるユニット折り紙の構造図などの書物も残っています。1797年には日本で最古の折り紙の書である「秘伝千羽鶴折形」が出版されました。この本を見てみるとこのころは長方形の紙がたくさん使われていて、今のような正方形ではなく長方形が使われていたことがわかります。また大きな紙を使わないといけない作品や、薄く丈夫でないと折れない作品も掲載されていることから和紙の技術の高さがうかがえます。もう一つ注目したいのがこの本では一枚の紙を正方形が連なっているように切りだしてそこから折り始めることで複数の折り鶴が連なっているように見せる連鶴という作品がたくさん載っています。これは現代の折り紙の主流である不切正方形の一枚おりとははなれた作品で、最古の折り紙の書物に載っている作品としては非常に意外に思います。また、1800年に出版された「折形手本忠臣蔵」では忠臣蔵の物語のシーンを一枚の紙に切込みを入れて表現されました。

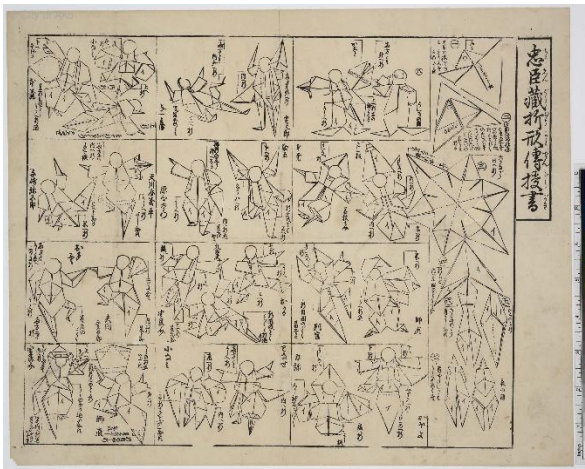
このころの折り紙は今のような不切正方形一枚というわけではなく、紙の形は長方形も多く、さらには方形にとらわれず自由に選ばれました。また、切込みも多用され今の折り紙のスタイルよりも自由であったようです。明確に折り線をつける基準が決まっていないうらい折りなども多用され、現代を生きる私たちが想像する折り紙とは少し異なったものであるように思われます。この時代の人々は現代とは少し違った楽しみ方をしていたんですね。



(←秘伝千羽鶴折形の一ページ。実線部は切り取り線を、点線で折り目を表してこのせんによってかみの使う部分が記されている。線のわずかに隙間が空いているところは隣接する正方形とのつながりを表している。これにより多様な形を作り出し、多岐にわたる連鶴の形を生みだしている。この本ではこのような作品がたくさん収録されており、この書物のレベルの高さとこの時代の折り紙の自由さを感じることができる。)



(↑秘伝千羽鶴折形の楽々波(さざなみ)をおってみたもの。この作品では紙の真ん中部分を残して4つの正方形に切り分けてから4羽の頭が真ん中に集まるようにおっている。このように複数の鶴が分離しないように作るものを連鶴という。)



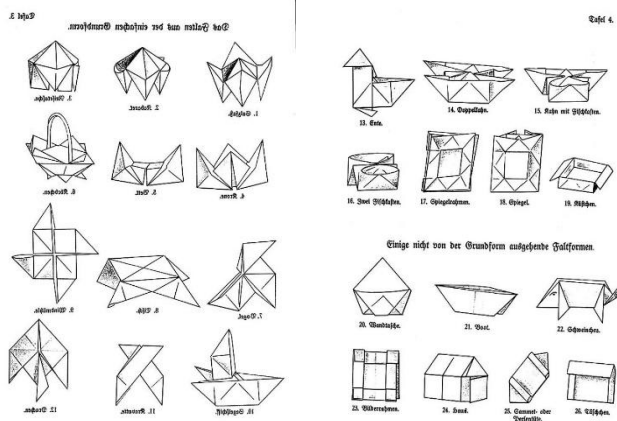
(↑折紙手本忠臣蔵。切込みを使ってひとの形を作り、「仮名手本忠臣蔵」全十一段を25体の人形折り紙で表現している。現代とは違う折り紙のありかたを感じられる。)

## 5. 折り紙の歴史〈現代の折り紙への変化〉

日本ではこうして折り紙が発展していった一方で、ヨーロッパでも12世紀に紙が作られて以来独自に折り紙が生み出されてきました。19世紀中頃フリードリヒ・フレーベルは世界で最初の幼稚園を作りました。彼の考えた教育玩具の中に「恩物」というものがありこれの中に紙を折って遊ぶDas Faltenという遊びがありました。ところで、このころスペインで広く普及していた「小鳥」の折り方は日本ではあまり知られておらず、日本では当たり前「折り鶴」の折り方がヨーロッパで知られていませんでした。そして、ヨーロッパの古典的な折り紙に見られる特徴として、45度を基本の線としていて、日本の折り鶴のような22.5度を基本としたも

のは数少ないものでした。また、日本の自由なスタイルと異なり用紙は正方形や長方形に限定され、切り目をいれたりぐらい折りをすることはほとんどされていません。このように日本とヨーロッパの折り紙の文化には決定的な違いがあり、それぞれがそれぞれで発展したものであるように感じられます。

さて、日本は明治になるとヨーロッパの文化が流入してきて、幼稚園ではフリードリヒ・フレーベルの教育法が多く取り入れられて「折り紙」は学校の教材にも使われるようになりました。この時期からの折り紙は幼稚園教育に取り込まれたことで子供の遊びという印象が強くなっていきました。ヨーロッパ文化を取り入れるうちに日本でもヨーロッパ独自に生まれた伝承的な折り紙やそれを発展させた幾何学的な模様折りが折られるになり、これらが従来の日本の折り紙と合わさることで現代の不切正方形一枚が主流のいろいろな創作をする折り紙になっていきました。



(↑フリードリヒ・フレーベルの Das Falten の作品例。折り紙にそっくりなことがわかるだろう。また、45度をベースにした作品が多いこともわかる。)

## 6. 15cm の正方形の理由 〈不切正方形の理由〉

ここまで長々と折り紙が現代のスタイルに落ち着くまでの歴史を紹介してきましたが、この章では冒頭ではなしていた僕の疑問である折り紙のメジャーはなぜ 15cm の正方形かということを考えていきましょう。忘れていた部分も多いと思うので整理の意味も込めていったんここまでの話を振り返っていきたいと思います。7世紀の初め日本に紙が伝わり、和紙が誕生しました。次第に貴族や公家が和紙で神様の供物を包む用途で使われていきました。鎌倉時代になると武家の贈答に使われるよ

うになりこの礼法を「折形」といいました。江戸時代になり紙が庶民にとって身近なものになると礼法からは外れて折り方そのものを楽しむ「遊戯折り紙」が普及していきました。このころの日本の折り紙は長方形が多く、紙を切ることが多用される自由なスタイルでした。明治に入るとヨーロッパの文化が流入し、不切正方形が主流の現代の折り紙になっていきました。このまとめからもわかるように、日本の折り紙の主流が正方形になったのは明治時代にヨーロッパの文化が入ってからなのでした。これにより、正方形になった時期については明治という回答を得ることができました。

ではなぜ正方形である必要があったのかについても考えていきます（ここからはあまり参考になる文献や当時の資料を見つけることができなかつたので僕個人の意見がかなり多くなることをご了承ください）。正方形は4本の線対称の軸を持ち、点対称であるという性質を持っています。このシンプルで美しい性質により折り紙は左右対称や幾何学なデザインがそれまでよりもデザインしやすくなったのではないのでしょうか。幾何学な折り紙も行っていたヨーロッパで正方形が作られていたのは納得できます。もうひとつ、明治前の折り紙は切るのが自由で再現性が求められないものも多かった一方で、明治になって教育に用いられるようになるとみんな同じものを作るようになったことで紙の統一化が必要になりその時に正方形のほうが統一しやすいのは容易に想像できます。サイズ違いも辺を同じ大きさに切れればよいので統一化しやすいというわけです。また、江戸時代では和紙が最も栄えていましたが、明治時代に入り、洋紙の製紙技術が入ってきて機械化されると洋紙は大量生産され、どんどん普及していきました。折り紙もまた和紙で作られた千代紙から洋紙で作られるものに移行していきました。このときの生産のしやすさという面でも正方形のほうが優れているように感じます。

このように一気に正方形の折り紙が普及をし、同時に不切正方形という手法が盛んになっていき、次第に折り紙は切らないで正方形一枚で作るというイメージがついていきました。今では一種の制約のように扱われ、コンプレックス折り紙では日々正方形一枚を切らずに完成を目指すという挑戦がされています。折り紙の展示では正方形一枚で折っているというと驚かれるお客さんが多いように感じます。複合よりも一枚、切るのではなく折るだけだというが特別視されているように思います。同じ作品でも不切正方形で作る方が評価されているように感じる。これを背景

とし、現代の折り紙では不切正方形が主流なのではないでしょうか。

## 7. 15cm の正方形の理由 〈15cm である理由〉

では最後になぜ 15cm なのかについて考えていきたいと思います。明治時代になり、正方形の折り紙が大量に作られるようになりました。この当初のサイズは 4 寸、5 寸、6 寸の三種類だったそうで、この 5 寸が名残として 15cm という形で残っているそうです。一寸は現代の単位に直すと 3.03cm、5 寸でだいたい 15cm というわけですね。僕がはじめあったらいいなと思っていた 12cm や 18cm が初期には標準のサイズとして存在していたそうで、これには驚きました。ではなぜこの二つのサイズは淘汰されることになったのでしょうか。

まず思ったのが、実際に作品を作る際の適度なサイズが 15cm だったのではないかということです。子供の教育ように作られた明治初期の折り紙は子供に合わせて作られているはずです。実際折り鶴などを折る際にまだ手元がおぼつかない子供が折るときにこれ以上小さいと都合が悪そうですし、大きすぎても子供の手では折りづらくなってしまいます。ですが、この説はサイズが 10~20 くらいがちょうどよいというくらいは説明がつかますが 18cm や 12cm ではいけない理由はわかりませんよね。ということで着眼点を変えてみます。売る側としてみた時にサイズによって都合が変わるでしょうか。そこまで変わる気はしませんね。強いて言うなら 12cm が一番小さいためコンパクトに売ることができ、場所をとらないというくらいでしょうか。これは少し無理やりや気もしますし、それでは 15cm が流通している説明はつきません。そこで、買い手でも売り手でもない生産側のことも考えてみようと思い、調べることにしました。

まず、現在多く流通している折り紙で 15cm 以外のものはどのようなものがあるのか調べてみることにしました(ここでは折り紙の代表的なメーカーであるトーヨーの折り紙を参考にしました)。すると、小さい順に 5cm、7.5cm、11.8cm、15cm、17.6cm、24cm、35cm が売られています。5cm と 7.5cm は 15 の約数なのでたくさん作られているのは納得できます。35cm も 5 の倍数できりがいいので理解できます。ですが、11.8cm、17.6cm、24cm に関しては 12cm、18cm、25cm になりきれなかったみたいなサイズに感じます。なぜこんな半端なサイズで作られているのか、ここでも謎は生まれます。ここで何か手がかりを掴めるのではと思い、トーヨーがホーム

ページに載せている折り紙の製造の工程を見てみようと思いました。これを見てみると、「まず原反(大きなロール紙)をカッターで切って小さくし、その後帳合(出荷する順番に色を並べることを行った後折り紙のサイズに切り分ける(断裁)。そして商品をパッキングされた後に、出荷される。」というようなことが書かれていました。この工程を見てひとつ半端な数の理由についてある説を考え付きました。折り紙は原反から切り出されて作られています。このときに製造する側とするとできるだけ無駄のないように、できるだけ枚数を多く切り出したいと考えます。原反の大きさは決まっているのでそこからうまく切り出す紙のサイズを調整して効率よく切り出そうとして、その結果が 11.8cm や 17.6cm などの中途半端な長さを生んでいると僕は推測しました(色々調べたのですがこれについてメーカーなどが出している資料をみつけられなかったので推測ということとどめておきたいと思います)。これにより昔ながらの 4 寸と 6 寸の長さを作りだすには 11.8cm か 17.6cm にするしかなく、15cm のほうがきりがよく使いやすいため 15cm の折り紙が広く普及しているのではないかと僕は思いました。



(↑断裁をしている様子。ずれを極限まで減らすために手作業で紙の位置を調節している。これにより日本の驚くほどに正確な正方形の折り紙を作ることができている。)

## 8. 終わりに

ずっとなんで 15cm なのか気になっていたもので調べてみたのですが明確な結論は得られませんでした。なにか少しでも知っていることがある人がいれば教えてほしい限りです(特に 11.8cm と 17.6cm の理由について)。これについては残念ですが、折り紙の歴史について学べたので満足です。現代の折り紙のスタイルはヨーロッパのスタイルに近いというのは結構以外でしたね。途中で不切正方形の話がありましたが、切りこみを入れてから折ったり、組み合わせられたり、長方形から作ったりする作品は避けられがちですが、ぼくはほかになくて割と好きなんですけどね。折り

紙は楽しむのが一番だと思うので正方形にとらわれない作品というのはどんどん出してほしいですね(正方形一枚で折るという楽しみもものすごくわかります)。

子どものする遊びというイメージがある折り紙ですが、いまでは大人のための折り紙のような本や、もっと難しいコンプレックス折り紙や、くす玉で知られているようなユニット折り紙、さらには幾何学模様を作り出すものまで生み出され、楽しまれています。ただの子供のする遊びではなくなってきているんです。みなさんも折り紙を始めてみてはいかがでしょうか。この部誌ですこしでも折り紙に興味を持っていただいたら幸いです。これまで読んでくださりほんとうにありがとうございました。

## 2-6. 人物系の作品を折ろう！ (前編 準備・実践編)

ゆうや

### 1. はじめに

こんにちは。81回生のゆうやです。

ここでは、蛇腹の人物系作品の創作方法を自分の創作した経験を追いながら説明します。

この記事は初めて蛇腹人物を製作する人向けの記事です。すでに蛇腹人物を折ったことのある方は「素人が何か言っているよ…」と流してください。折り紙にまだ触れたことのない人は、今後必要になることがもしあればぜひ戻ってきてください。

### 2. 事前準備

#### 2(i). モチーフ決め

まずはモチーフ決めです。まあこれは、最初から決まっていますよね。人物系作品を折ろうと決意してから作品を決める人なんていませんよ。ちなみに私は東方PROJECTよりルーミアを選びました。理由として、比較的単純な構造なので別の作品に構造を流用しやすそうだったから、というのも大きかったです。

#### 2(ii). モチーフに対する研究

次に、そのモチーフについての研究です。モチーフの細部まで理解しておきましょう。

ここで勧めたいのが「イラストを学んでおく」ということです。

本当にイラストとして書けないものは折れないんですよ。私はイラストを見下していた節があったため、最低限書けるようになるまで時間がかかりました。

私の描いた絵を載せておきます。相当下手ですが…

#### 2(iii). 道具集め

必要なのは紙、糊、針金などでしょうか…



まず紙です。私はtカラペという非常に薄い紙を使っています。これは紙が厚くなりすぎて折れないということを防げるメリットがありますが、専用のカッターが必要、破れやすい、厚みの差が明確に出てしまうというデメリットもあります。まあ自分の作品にあった紙を選ぶことですね（丸投げ）

次に糊です。これは大体の紙なら普通の木工用ボンドでいいですが、私は特殊な紙を使っているのでcmcを使っています。ほとんどの紙はこのどちらかでどうにかかります。

最後に針金ですね。抵抗がある方もいるでしょうが、これなしで形を保てる作品を作るのは難しいです。私には無理です。そう考えると暫ってすごいよね。



これはできるだけ細いものを使ってください。太いと作品に入れると目立つし、曲げにくいし、といいことはありません。

これが終わればようやく作品の創作に取り組み始めることができます。

ここからが地獄です。覚悟を決めましょう。

### 3. 作品の大まかな構造を決める

(※これは私のやり方であるので、参考に留めることをおすすめします。)

まず、作品をどこまで作りこむのか決めましょう。特に背面、顔面を作りこむのは重要です。私は顔面も背面も作りこもうと決めて地獄を見ました。次にモチーフのイラストをもとに、各部位の蛇腹におけるマス数を決めます。さっきのイラストにも描きこんでありますね。胴体の幅を2マスとすると、10cmにつき1マスが目安です。次に各部位の展開図上の配置を決めます。これで終わりです。

## 4. 作品の細かい構造を決める

これが一番大変なことです。この部誌の内容の中心はこれです。

### 4(i). 全体的に注意すべき点

一言でまとめると「作品の整合性をとること」これにつきます。どれだけ各部位が魅力的に作ってあっても整合性がなくてはただの継ぎはぎになります。

具体的に注意すべき点をまとめます。

まず、作りこみの深さを一致させることです。説明が難しいのですが、「それを絵にしてアンバランスではないか」ということで判断すればよいです。

次に、蛇腹を見せるか見せないかしっかり決めるということです。よくある例としては、「スカートを段折りで表現したために不自然になる」といったことがあります。

最後に、立体感を一致させることです。頭部をすごく立体的にしても胴体がペラペラだと違和感があります。

### 4(ii). 部位ごとの細かい構造のポイント

(※蛇腹人物を折る上で、基本的な構造、注意点をまとめています。様々なパターンごとの構造を知りたい方は、後編でその様々な構造について妄想しているのでそちらをどうぞ。)

(※これを書いている時点で完成していないので、図、写真がないです。展示されている作品で補ってください。)

〈顔〉(※省略する場合は読み飛ばしてください。)

目、口ともに、カドから生み出すのがやりやすいです。というか、そうでないと無理です。写真の構造だと口がワンパターンになってしまうという大きな欠点があります。

〈髪〉

「前髪」「横髪」「後ろ髪」の三つにわけましょう。後ろ髪は背面を気にしないのなら必要ないこともあります。

### 〈腕〉

身長÷2マスほどの長さです。袖口と腕の境目はしっかり表現しましょう。インサイドアウトができれば楽ですが、私のように白一色で折っているのなら鬼門です。5本指を設置するかは紙のスペースと残量を見てよく考えましょう。親指のみで段折という手段もあります。あと、腕がただの棒にならないように太さを調節するとよいです。

### 〈胴体〉

はじめに言います。蛇腹人物で背面を作りこむことの難易度を上げているのはここです。

首との境目はしっかり出しましょう。胴体の側面がまっすぐだと非常に不自然になるので、箱型にするか、4マス幅で一回作り後ろに折り込むのがおすすめです。もし背面を作りこむのなら、背割れを防ぐ処置はしましょう。(翼があるなら妥協するしかない)

### 〈足〉

足首を考えると手+2マスぐらいがいいです。手と同様にただの棒にならないように処置さえすればいいことにはないです。足首は結構適当でかまいません。

## 5. 実際に折る

他人の作品を折るときと同じように折りたためばいいです。ここであまり述べることはありません。

## 6. 仕上げる

ここで完成品のクオリティが決まります。構造がそこそこひどくてもここさえできていれば何とかあります。のりづけ、針金入れもここで行います。モチーフをよく観察して行ってください。

## 7. 後編について

ここで前編は終了です。後編は東方研究部の部誌に存在します。そちらでは、人物作品の各部の構造をパターンごとに妄想しています。あくまでも「東方研究部の部誌」という体裁を保つために東方にかたよっていますが。ぜひ、そちらも読んでみてください。

ここまで読んでくださって有難うございます。東方研究部の部誌でまた会いましょう！

## 2-7.

### 1. はじめに

初めまして。83回生のTomです。ここでは展示させていただいている作品についてお話ししようかなと思います。

去年（私が中一の時）の文化祭で痛感しました。他の方の作品がすごすぎます。では自分は何ができるか？超絶技巧の細かい折り？ 苦手です。気が遠くなるような枚数のユニット折り紙？ 残念ながら、単調作業に耐える忍耐力は持ち合わせておりません……。去年は似非創作をし、「初めての創作だったし〜」なんて言って逃げましたが、今年はパワーワード「初めて」が使えません。そこで、逃げ場を失った僕が到達した結論はシンプルでした。「自力で無理なら、公式（神）の威光を借りて再現という名のごまかしに走れ！」。ということで僭越ながら『甘神さんちの縁結び』の1巻2話「白昼と鶴」の折り鶴を再現させていただきます。

### 2. 作品紹介

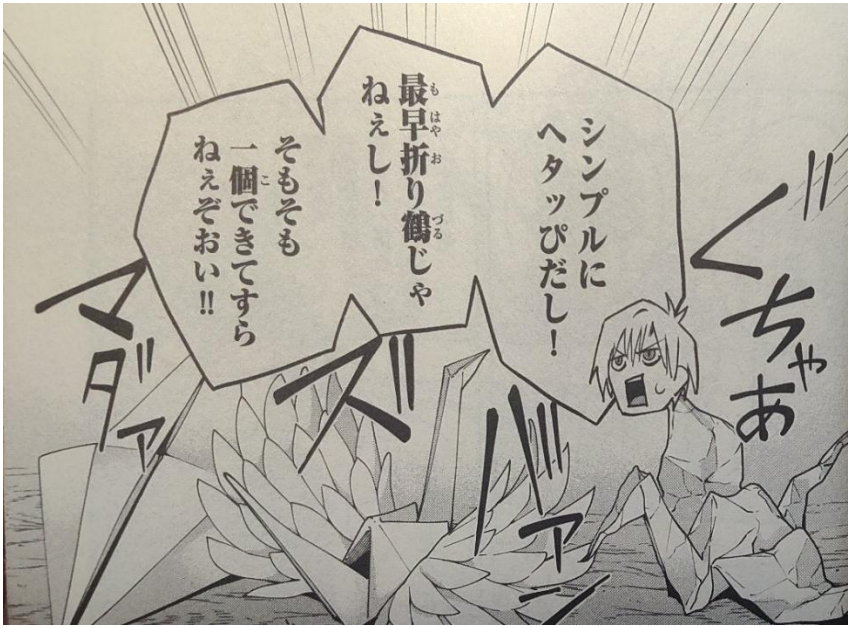
今回再現する『甘神さんちの縁結び』は、「児童養護施設育ちの京大医学部を目指す上終瓜生が、「甘神神社」に住む巫女三姉妹（朝姫、夕奈、夜重）と結婚をし、婿養子になることを条件に宮司さんに引き取られる。」という、いわゆる“同居ハーレム系”の作品です。内藤マーシー先生の圧倒的画力で描かれるヒロインたちの魅力は、もはや暴力。僕の人生において、間違いなく「最高」と言い切れる作品です。（ぜひ右のQRコードから、試し読みを！）



### 3. いざ 作成！

再現しようとしているのは、もろもろあって（ネタバレはしたくないのでこれぐらいで勘弁を）甘神三姉妹が千羽鶴を折りましたというシーンです。皆さんなかなか特徴的な鶴を折りますね〜。（次ページの画像）

ツッコミをしているのは、主人公の瓜生君です。また、作品の色は、アニメ版を参考にするとしましょう。



(©内藤マーシー／講談社)

### 3(i). 朝姫の鶴

あざとい小悪魔系三女の朝姫です。ちなみに僕の推しです。先ほどの画像でいうと、一番右にあるやつを折りました。彼女の作品は…まあ…一言でいうと、くしゃくしゃの鶴ですね。ただ、もちろん朝姫は作ってからくしゃくしゃにしたわけではなく、作る過程でくしゃくしゃになったのですから、再現の際は、折る途中で変な方向に折り目を入れながら折りました。案外ムズイ。というか、いくら不器用でもそうはならんだろ… (かわいいからヨシ!)

### 3(ii). 夕奈の鶴

続いては夕奈。一番左のやつを折りました。真面目で頑固な次女です。かなり表情の幅が豊かでかわいいのですが、鶴自体は丁寧に、普段は省略するような折り目もつけながら途中まで折れば再現は終了です。

### 3(iii). 夜重の鶴

問題はこれです。おっとりマイペースな長女、夜重の鶴。真ん中のやつです。正直、なめていました。めちゃくちゃに難しい。彼女は (ネタバレにならない範囲でいうと) 武術・芸術にも長けた天才です。僕なんかがかとうわけがなかった。この

部誌を書いている時点でも完成していません。何とか間に合わせるつもりです。うん… 多分、大丈夫なはず…。

#### 4. おわりに

以上、僕の作品の紹介でした。ここまで読んでくださった皆様、こんな拙い文を読むのに貴重な時間を使っている暇があるなら、一秒でも早く『甘神さんちの縁結び』を買って読め！！ おっと、失礼。少々押し付けがましくなっていました。仕切り直して、ここまで読んでくださった皆様、本当にありがとうございます。

最後になりますが、今回の展示にあたり、多忙な中で親身に相談に乗ってくださり、多大なるお力添えをいただいた顧問の河内一樹先生、ならびに、突然の連絡にもかかわらず、温かく掲載を許可してくださった週刊少年マガジン編集部の皆様に、この場を借りて深く御礼申し上げます。

(©内藤マーシー／講談社)

## 2-8.

折り紙歴 4 年目。83 回生のけいたろうです。

まず、折り紙を始めたきっかけについて。確か幼稚園年長の頃、私がいかに手が不器用なのを見かねて、母から折り紙をしたら？というありふれたきっかけでした。もちろん折り筋もぐちゃぐちゃで、その程度のものしか作れず鶴もまともに折れませんでした。

4 年生の時、塾の帰りの車の中で見ていたテレビ番組で見たカジキがカッコいいと思っていると、折り紙で折ってみようという考えが天からのお告げでやってきて、帰宅後一心不乱に折り紙をしました。思い返せばこれがきっかけで今に至っています。このころの作品は切ったり貼ったりでとても幼稚でした。とにかく何度も似たような作品を折っていました。今は、それを思い返しながら柏村卓郎さんの「マカジキ」を折っています。

5 年生の誕生日には、「綺麗な折り紙」の本をもらいました。それにのっている「アノマロカリス」を折ったのですが、当時の私には難しすぎたようで下のように折り目はぐちゃぐちゃで、左右非対称でした。ある意味芸術的！



そこから頑張って折り紙を続けた結果、人にはうまいといわれるようになりました。(自画自賛してごめんなさい) 受験期になってからは、受験のことで頭がいっぱい！もう折り紙はいったん中止か？というところでもなく夏ごろに「ORIGAMIDORAGONS」を楽天で買ってもらいました。小学校では、ほとんどの時間を読書と折り紙に費やしていました。

灘に入学して、部活は折り紙にする！と決めていたので真っ先に入部しました。夏には、京都での他校との交流会にも参加させていただき、今まで一人で折り紙を

折っていただけに、孤独から解放された感じがしています。

最近、私自身が戦闘機や艦艇などが好きなので、ORIGAMI COLONEL さんの折り紙をよく折ります。おすすめです。

他にも、先に挙げた「ORIGAMIDORAGONS」の中にはドラゴンの折り紙しか入っていないので、全部折ることができるようになったらドラゴンマスター(?) になれます。

はじめての部誌で緊張してしまい拙い文章となってしまいましたが、お時間を使ってまで最後までお読みいただきありがとうございました。

# 3. あとがき

早いもので部の設立から3回目の文化祭です。僕が内側からかわれるのは今回が最後ですが、80回生以下の後輩が、有り余るポテンシャルを秘めたこの部を成長させてくれることを信じています。どうかその成長を共に見守ってくださるとうれしいです。ありがとうございました。

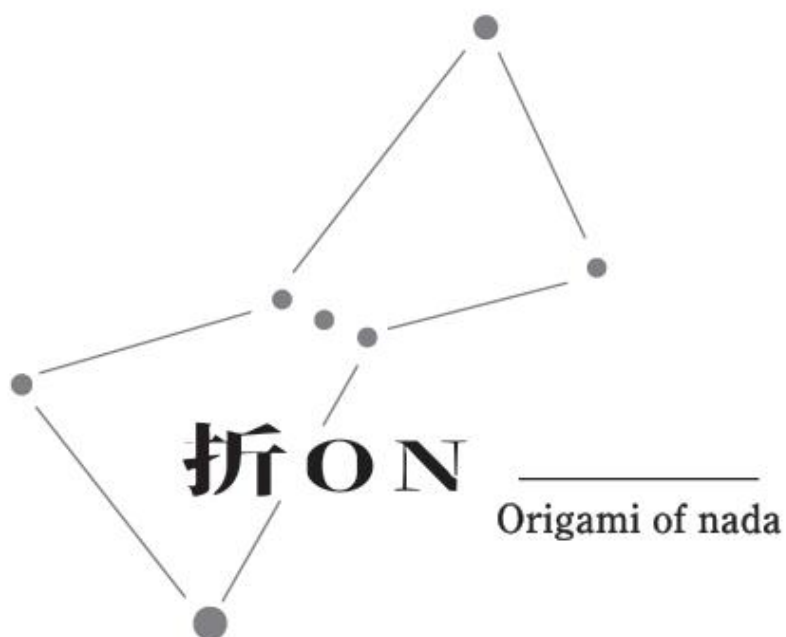
折り紙サークル副代表 蕎麦

今年の部誌もお楽しみいただけただでしょうか。折り紙サークル代表（灘校古典文化同好会折り紙班）として、子供のころから大好きだった折り紙が、灘校折り紙サークル設立、そして初代代表につながったと思うと、非常にうれしく思いますし、貴重な経験ができたと感じています。加えて、その折り紙サークル自体も3年目にしてかなり大きな団体になり、たくさんの折り紙好きの後輩にも恵まれて本当に良かったと思います。僕たち代表副代表は今年の文化祭をもって引退となりますが、灘港折り紙サークルは今後もっと大きなサークル、同好会、いずれは部になると信じています、どうか引き続き応援よろしくお願いします。3年間ありがとうございました。

折り紙サークル代表 折り紙えもん



vol.3



@NADAORIGAMI

